



登別市
都市整備部下水道グループ
工事計画主幹

若山浄化センター長
松崎 陽祐 様



NTT ME選ばれた理由

- ・ 設計～保守まで一体対応可能
- ・ 提案力・長期運用の信頼性を評価

NTT MEは設計から施工、運用保守まで一体的に対応可能であり、下水処理施設の特性を踏まえた提案内容や長期安定運用への信頼性を評価し、最適なパートナーと判断しました。



導入後の効果

- ・ 再エネ活用で排出削減とコスト低減に寄与
- ・ PPAで初期投資抑制、運用負担軽減

再エネ電力の活用により温室効果ガス排出量の削減に寄与し、副次的な効果としてコスト削減の効果も実感しています。加えて、PPA方式により初期投資を抑えた上での導入が実現し、包括的な運用・保守対応により施設管理面での負担軽減にもつながるものと期待しています。



導入の背景

- ・ 電力消費量大の下水処理施設の脱炭素化が課題
- ・ 再エネ導入はコスト負担大で持続手法検討が必要

登別市ではゼロカーボンシティ実現に向け、電力消費量の大きい下水処理施設の脱炭素化が課題でした。一方で、再エネ導入に伴う初期投資や運用負担が課題であり、財政面に配慮しつつ持続的に導入できる手法の検討が求められていました。

今後の展望、NTT MEに期待する事

- ・ 排出削減を進め下水道事業全体の脱炭素化を推進
- ・ 安定運用に加え再エネ高度化と地域展開支援に期待

本取り組みを契機に、さらなる温室効果ガス排出量の削減を進め、下水道事業全体での脱炭素化の推進を図っていきたいと考えています。NTT MEには、安定運用に加え、再エネ導入の高度化や地域展開支援など、引き続き地域課題解決に資する取り組みを期待しています。

導入設備の概要

設置場所	登別市若山浄化センター内
竣工	2026年4月24日
太陽光発電設備容量	約595.2kW
年間発電量（見込み）	800,000 kWh程度
年間CO2削減効果（見込み）	310t程度



登別市の概要

登別市は、北海道の南西部に位置し、形状はほぼひし形をなしています。南は太平洋に面し、その海岸線はほぼ一直線で、室蘭市、伊達市、白老町、壮瞥町に接しています。支笏洞爺国立公園の中核に位置し、登別温泉を抱える北海道有数の観光都市であるとともに、本道で最も進んだ重工業地帯の室蘭工業圏の一翼として発展してきました。

◇ 登別市公式ホームページ :<https://www.city.noboribetsu.lg.jp/>

お問い合わせはこちら >>